



NEWS RELEASE

2023年10月18日

SBI生命保険株式会社

アミフィアブル株式会社

GPT-4 を組み込んだテスト工数削減 AI アプリの新機能について ～SBI 生命とアミフィアブルの共同開発～

SBI生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小野 尚、以下「SBI生命」）とアミフィアブル株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役 河村 隆一、以下「アミフィアブル」）は、アミフィアブルが開発したテスト工数削減 AI アプリ「MLET.II」に GPT-4^{*}を組み込んだ新機能を共同で開発し、運用を開始したことをお知らせします。

※GPT-4：米 OpenAI 社が提供する、大規模言語モデル（Large Language Models、以下、「LLM」）

1. 背景と概要

両社は、2022年3月より戦略的パートナーシップとして、MLET.IIの様々な機能拡張について共同開発をしております。そしてこの度、今後増えると考えられる LLM に基づく独自の質疑応答システムの回答精度の検証ツールとして、GPT-4 を搭載した MLET.II の新機能を共同開発し、運用を開始しました。

2. GPT-4 を搭載した新機能について

新機能では、GPT-4で複数バリエーション（任意の数）の類似の質問文を自動で生成します。これまで人手では作成が困難であった、ユーザー毎の多種多様な言い回しを考慮した質問文を GPT-4が大量に生成し、より自然な言語での質問文を自動で生成することを可能にしました。これにより、テストバリエーションの品質向上、および質問文の生成にかかる時間の短縮に寄与します。

さらに、従来のMLET.IIは検証対象の質疑応答システムより生成された回答文と正解文との比較を文字の完全一致・不一致で行っていましたが、今回の新機能では、回答文と正解文の類似度をスコア化（数値化）して評価できるようにしました。これにより、自社のデータセットで調整（ファインチューニング）したLLMの質問に対する回答精度を数値化することができ、あいまいだった調整の効果を数値で検証・分析できるようになりました。

3. 今後の展開

両社はこれまでの共同開発の実績を通じて、今後は生成系 AI の利活用も含めたさらに先進的なサービスの提供、課題の解決などを実現してまいります。

【参考】SBI生命の社内コールセンター向けセルフポット構築での導入事例

■ GPT-4 搭載の MLET. II の新しいバージョン



■ MLET. II (従来のバージョン)



■ 企業情報

企業名：SBI生命保険株式会社
 所在地：東京都港区六本木1丁目6-1
 代表者：代表取締役社長 小野 尚
 URL：<https://www.sbilife.co.jp/>

企業名：アミフィアブル株式会社
 所在地：東京都目黒区下目黒1丁目8-1
 代表者：代表取締役 河村 隆一
 URL：<https://www.amifiable.co.jp/>

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>
 SBI生命保険株式会社 広報担当
 TEL：03-6229-1019 メール：pr@sbilife.co.jp